

報道関係各位

2023年11月7日
株式会社クロス・マーケティング

美術館・博物館に「行ってみたい」前向き派が半数 若年層は「企画展の趣向」、40代は「有名なアーティスト」に興味

－美術館・博物館に関する調査（2024年）－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「美術館・博物館に関する調査（2024年）」を実施しました。今回は、「美術館・博物館に行く頻度」「興味がある展示・内容」「美術館・博物館に対して思うこと」「お気に入りの美術館・博物館とその理由」「好きな画家・作品名」について聴取しました。

◆調査結果の続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20241107art/>

■調査結果

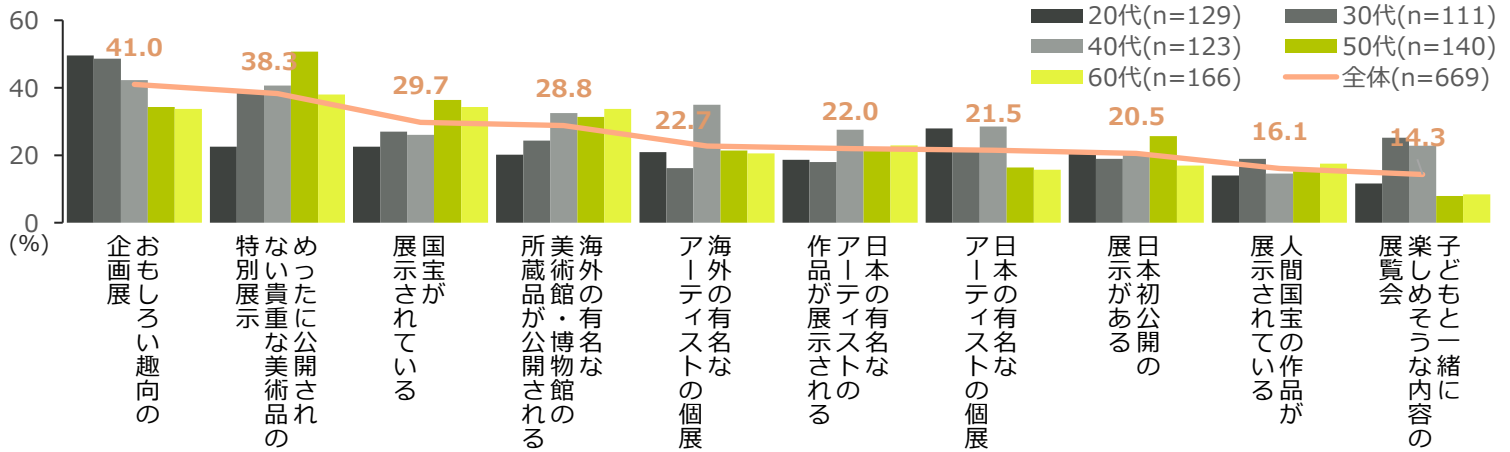
- ✓ **美術館・博物館に自発的に行く人は、いずれも1割半ば。「誘われれば行く程度」「あまり行かないが、これからは行ってみたい」も含めた、美術館・博物館に行く・行ってみたい人は約半数。**
美術館では50代、博物館では50代・60代で「あまり行かないが、これからは行ってみたい」がやや高め。〈図1〉
- ✓ **興味がある展示・内容は、「おもしろい趣向の企画展」が41.0%で最も高く、「めったに公開されない貴重な美術品の特別展示」が38.3%と続く。**
20代・30代は「おもしろい趣向の企画展」、40代は「海外の有名なアーティストの個展」「日本の有名なアーティストの作品が展示される」などアーティスト関連の項目、50代は「めったに公開されない貴重な美術品の特別展示」への関心が高く、年代によって差がみられる。〈図2〉
- ✓ **美術館・博物館に対して思うことは、「気に入った作品は時間をかけてじっくり見る」「一人で自由に鑑賞する」「入場料が高いと思うことがある」がTOP3。**
50代は「旅先では、その土地の美術館・博物館に行ってみる」「館内にある他の美術館・博物館のチラシをチェックする」が高く、前向きな様子が見えられた。〈図3〉
- ✓ **お気に入りの美術館・博物館は、「東京国立博物館」「ルーブル美術館」などで、国宝といった展示物の魅力や展示物の多さが理由。〈図4〉好きな画家・作品は「ゴッホ」の「ひまわり」が最も多くあがった。〈図5〉**

〈図1〉美術館・博物館に行く頻度（単一回答）

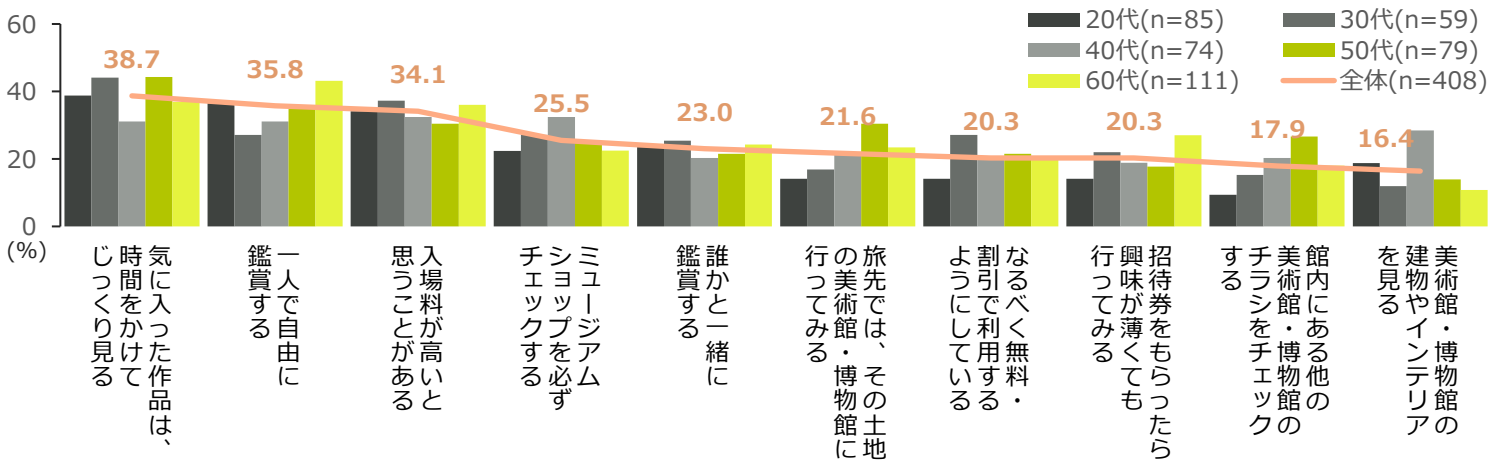
	n=	自発的に行く計		行く・行ってみたい計		以前はよく行っていたが行かなくなった	興味もないしまったく行かない	自発的に行く計	行く・行ってみたい計
		よく行く	気になる展示があるときはときどき行く	誘われれば行く程度	あまり行かないが、これからは行ってみたい				
全体	(1,100)	2.6	13.3	9.4	23.2	7.8	43.7	15.9	48.5
美術館									
20代	(220)	4.5	11.8	10.5	22.3	6.4	44.5	16.3	49.1
30代	(220)	1.4	11.4	6.8	24.5	3.2	52.7	12.8	44.1
40代	(220)	2.3	14.5	7.7	19.5	6.4	49.5	16.8	44.0
50代	(220)	2.3	12.3	9.1	27.3	8.2	40.9	14.6	51.0
60代	(220)	2.7	16.4	12.7	22.3	15.0	30.9	19.1	54.1
博物館									
全体	(1,100)	1.7	12.6	10.4	25.4	7.2	42.7	14.3	50.1
20代	(220)	2.7	8.6	15.9	23.2	4.5	45.0	11.3	50.4
30代	(220)	1.4	12.3	8.6	22.7	2.7	52.3	13.7	45.0
40代	(220)	1.8	12.7	7.7	24.5	4.5	48.6	14.5	46.7
50代	(220)	1.4	15.5	7.3	27.7	7.7	40.5	16.9	51.9
60代	(220)	1.4	14.1	12.3	28.6	16.4	27.3	15.5	56.4

(%)

<図2> 美術館・博物館で興味がある展示・内容 (複数回答) ※美術館・博物館に過去・現在行っていた+行ってみたい人ベース



<図3> 美術館・博物館に対して思うこと TOP10 (複数回答) ※美術館・博物館に過去・現在行っていた人ベース



<図4> お気に入りの美術館・博物館とその理由

(自由回答一部抜粋: n=408)

※美術館・博物館に過去・現在行っていた人ベース

1位 東京国立博物館 16件

- 重要文化財・国宝がたくさんあるから。(男性20代)
- 貯蔵品が素晴らしい。(女性50代)
- 展示物が多い。(男性20代)

2位 ルーブル美術館 15件

- 世界的に有名な作品がある。(男性50代)
- 規模が大きいし、他の美術館とは比較にならない魅力がある。(女性40代)
- モナリザ以外の展示物はガードが緩く、間近で見られる。(女性60代)

3位 国立科学博物館 8件

- 展示物が多く見飽きない。(女性50代)
- いろいろなイベントが開催されている。(女性30代)
- 個性的な季節展示がある。(男性20代)

4位 国立西洋美術館 7件

- 他ではやらないアーティストの展示がある。(女性60代)
- 駅から近くて行きやすい。(女性60代)

5位 九州国立博物館 6件

- 定期的な企画展示がある。(男性30代)
- 珍しい展示が多い。(男性50代)

大塚国際美術館 6件

- レプリカだが簡単に見られるし、触ってもいいから。(女性60代)
- 展示内容の趣旨も、建物や内装の美しさも素晴らしいから。(女性30代)

<図5> 好きな画家・作品名

(自由回答一部抜粋: n=408)

※美術館・博物館に過去・現在行っていた人ベース

1位 ゴッホ 18件

- ひまわり (男性20代)
- 花咲くアーモンドの木の枝 (女性50代)

2位 フェルメール 9件

- 真珠の耳飾りの少女 (男性50代)
- 窓辺で手紙を読む女 (女性40代)

3位 クロード・モネ 5件

- 睡蓮 (女性60代)

ピカソ 5件

- ゲルニカ (男性60代)

4位 ミレー 4件

- 落ち穂拾い (女性60代)
- 晩鐘 (女性60代)

レオナルド・ダ・ヴィンチ 4件

- モナリザ (男性30代)
- 最後の晩餐 (女性40代)

ルノワール 4件

- イレーヌ・カーン・ダンヴェール嬢 (女性50代)
- ムーラン・ド・ラ・ギャレット (女性30代)

ラッセン 4件

伊藤若冲 4件

- 紫陽花双鶏図 (女性20代)

■ 調査項目

- 属性設問
- 美術館・博物館に行く頻度
- 美術館・博物館で興味がある展示・内容
- 美術館・博物館に対して思うこと
- お気に入りの美術館・博物館とその理由
- 好きな画家とその作品・展示物

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20241107art/>

■ 調査概要

- 調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
- 調査地域 : 全国47都道府県
- 調査対象 : 20～69歳の男女
- 調査期間 : 2024年11月1日 (金) ～11月4日 (月)
- 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

- 会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
- 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
- 設立 : 2003年4月1日
- 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
- 事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」